The 45th Annual Meeting of the Japanese Society of Ophthalmic Surgery
第45回日本眼科手術学会学術総会

ランチョンセミナー 12

Leica
MICROSYSTEMS

日時 2022年1月29日(土)
12:30〜13:30

会場 第8会場 G510
東京国際フォーラム

オペ室の人気者

～ライカ顕微鏡Proveo8の魅力にあらゆる目線から迫る～

座長
倉員 敏明 先生　くらかず眼科

演題① 演者
一尾 享史 先生　さくらの森眼科
Proveo8、BIOM5がもたらす安定性と難症例攻略への足がかり

演題② 演者
朝生 浩 先生　経堂あそう眼科
コメディカルからも支持されるProveo 8

座談会ご参加
大澤 俊介 先生　MIE眼科四日市
米田 一仁 先生　昴会アイセンター／さくら眼科グループ

Proveo8

座長

倉員 敏明 先生

くらかず眼科 院長

眼科手術は他科の手術と比較して展開が早く素早い対応が求められます。
しかし、医療現場は安全性が重要でミスが許されない環境であり、情報を正しく、正確に管理する必要があります。その中で手術用顕微鏡はサージャンの身近なパートナーであり、手術を完遂する上で最も重要と言っても過言ではありません。今回のセミナーでは、ライカの顕微鏡Proveo８が持つ基本性能から、他の顕微鏡にはない特徴を様々な症例から、エキスパートサージャンのお2人を招き、お伝えできればと考えています。
また、Proveo８は我々医師だけでなく、コメディカルからも支持があります。
Proveo８を1度使用した医療従事者からなぜこんなに評価されているのか、セミナー終了後には理解してもらえる、すぐに使用したくなるセミナーになることを願っています。
多くの先生方のご参加をお待ちしております。

裏面へ続きます。▶

演題① 演者

一尾 享史 先生

さくらの森眼科 院長

Proveo8、BIOM5がもたらす安定性と難症例攻略への足がかり

昨今、手術器具の進歩は著しく、顕微鏡もその例外ではない。その甲斐あって短時間で安全な手術を遂行することができるようになった。しかし依然として困難な症例や多大な労力を必要とする症例もまた存在する。
近年のデジタルデバイスは直感的に使えることが肝要であり、スマートフォンなどを通じてそのことはおわかりであろう。

つまり、「顕微鏡操作をする」その事自体を意識から遠ざける事ができ、操作そのものが少ないことが重要である。

Proveo8、BIOM5はそのことを実現している数少ない顕微鏡と言えよう。

そして、私にとって難症例白内障手術や網膜硝子体手術において、意識のほぼ全てを水晶体や増殖膜へ向けるために、Proveo8、BIOM5はなくてはならないものであり強力な武器となった。

今回は難症例の手術動画とともにProveo8、BIOM5の優位性について論じてみたい。

演題② 演者

朝生 浩 先生

経堂あそう眼科 院長

コメディカルからも支持される Proveo 8

手術は、限られた人材・時間・空間の中で、最善のマネージメントをすることが、術者にとって重要と思われる。

昨年、出向先の病院で顕微鏡の買い替えを行う機会があったが、コメディカルからは、ライカの眼科手術顕微鏡Proveo8の評価がとても高かった。

当該施設は最終的にProveo8購入に至ったが、私の購入の決め手の一因はコメディカルの高い支持を得たことである。

Proveo8は光学系のベネフィットは知られているが、手術室での利便性についてはあまり語られてこなかったように思われる。

今回、顕微鏡の実際の使用感に加え、コメディカル視点での出し入れや収納のしやすさ、ケーブルマネジメント、セットアップ等を交えながら、Proveo8を選んだポイントについて語りたい。

本会ランチョンセミナーは整理券制となります。

配布場所：東京国際フォーラム B2F ホールE(1)内　**配布時間**：2022年1月29日(土)7:30～11:30（※無くなり次第、終了）

※整理券の受け取りにはネームカードが必要です。おひとり様1日1枚限り、開催当日分のみの配布となります。 ※整理券の配布は先着順のため、なくなり次第終了させていただきます。
※配布時間終了後、整理券が余っている場合は、各セミナー会場前で配布します。 ※整理券はセミナー開始と同時に無効となります。
※各セミナー会場には、整理券をお持ちの方から、優先的にご入場いただけます。 ※整理券をお持ちでない場合でも、各セミナーの参加状況により、ご入場いただける場合があります。

共催 ： 第45回日本眼科手術学会学術総会 ／ ライカ マイクロシステムズ株式会社